

1月26日、将棋を世界に広める会（ISPS）の山田理事長、松岡副理事長、袴田副理事長、北理事は、日本将棋連盟を訪問し、片上常務理事、中村普及部長らと将棋を世界に広めるために、今年予定される様々な国際的将棋イベント等における協力について意見交換しました。

本年11月7日～9日には、9月竣工の新将棋会館において、「国際将棋フェスティバル 2024（2021年に国際将棋フォーラムより改称）」が開催される予定です。国際将棋フェスティバルは、将棋の世界普及のために最も重要な世界規模の大会で、ISPSは、国際将棋フォーラムの成功ために主催者である日本将棋連盟と積極的に協力して行く予定です。

8月7日には、浜松において「第7回日中友好杏林堂杯青少年将棋大会」が開催されます。日本と中国の子供たちが将棋を通じて交流し、友好を深めるこの大会にもISPSは種々協力をしていきます。

会合ではさらに、ISPSが主催する、現在計画中の「第2回都市対抗世界子ども将棋団体戦」についても意見交換を行いました。その中で、本棋戦と国際将棋フェスティバルとの連携についても検討されました。

ISPSとしては、今後とも日本将棋連盟との連携を密にして、将棋を世界に広めるための協力を続けていく方針です